

■活動状況

2022 年度事業報告

2022 年度の世界経済は、ロシアがウクライナに侵攻して以降、世界の分断が供給制約を深め、食品やエネルギーなどの高騰に拍車がかかり、各国・地域の中央銀行がインフレ退治でこぞって急ピッチの利上げに動いた結果、世界的な情勢不安が増大した。この不安に対する切迫感が脱炭素社会に向けたグリーントランスフォーメーション(GX)とデジタルトランスフォーメーション(DX)を加速することにつながった。九州経済に関しては、半導体製造の世界最大手である台湾積体回路製造(TSMC)がソニーグループなどと組んで熊本県に建設中の新工場が2024 年末に稼働する予定を受けて、半導体製造の関連設備などを手掛ける企業が相次ぎ九州への新規進出や事業拡大を打ち出し、「シリコンアイランド」復活に向けて九州の企業や金融機関の動きが活発化した。

NPO 法人北九州テクノサポート(KTS)の2022 年度の活動を振り返ってみると、EA21 の地域事務局「環境未来」は中小企業の GX 実現に向けて地道な活動を進めているが、全国的に認証登録企業が減少傾向にあり、根本的な課題を抱えている。北九州市は GX に向けた洋上風力発電を製鉄と自動車に次ぐ第3 の産業に育成することを目指して産業集積と基盤整備を図っているが、当法人は2022 年7 月から北九州市風力発電人材育成連絡会業務の支援を担うことになった。他の活動はコロナ禍で制約を受けたが、ウイズコロナの流れから、インターンシップ受入企業の登録は、前年度比で若干の増加に転じると共に、ビジネスマッチング事業は、従来の製造技術イノベーション展と中小企業テクノフェアに加えて地方都市としては初めての DX 推進フェアが同時開催され、入場者数がコロナ前の半数まで回復した。KTS は、多様なキャリアを持った技術者集団であり、IT 活用支援グループが整備したオンライン会議ツール Teams などを駆使しながら、第4 次産業革命の勉強会や KTS の会員相互情報交換会等で新技術の習得や相互理解を深めて、地域産業の振興と活力あるまちづくりへの貢献を目指し、以下の活動を展開した。

<2022 年度の主な活動>

<関係先>

● 北九州地域産業人材育成事業 (地域連携型インターンシップ支援活動)	北九州地域産業人材育成フォーラム (公財)北九州活性化協議会
● 北九州市風力発電人材育成連絡会業務の支援	(公財)北九州活性化協議会
● 課題解決 EXP02022 ビジネスマッチング事業	(公財)北九州観光コンベンション協会
● 北九州商工会議所アドバイザー活動の推進	北九州商工会議所
● 製品開発・業務改善指導など	地域の中小企業
● 広報誌(夏号/冬号)の発行	県、市、公共・学術機関、賛助会員、協賛会員
● 「第4 次産業革命」勉強会資料の英文化と講演	(公財)北九州国際技術協力協会
● エコアクション21 認証・登録事業の推進	(一財)持続性推進機構 EA21 中央事務局
● 会員相互情報交換会(オンライン)1 回	NPO-KTS 会員、地元企業
● 新型コロナウイルス感染防止のためテレワーク推進	NPO-KTS 会員、関係先
● よろず相談 5 件	地域の中小企業